



▲人手が必要な時、地域で支え合いましょうと話される村岡先生

地震防災は事前の備えが全て

1月20日(日)、ふれあいセンターで、岐阜大学地域減災研究センター特任准教授の村岡治道先生による、地震対策に関する講習会が牧区主催で開催されました。

先生は「天気予報で降水確率が70%だったら、傘の準備しますよね。地震だとなぜ準備しないのですか。今の皆さんがやっている訓練は、防災を失敗した後の訓練です。災いを防ぐ防災をしましょう」と話され、家の耐震化・家具の転倒防止対策・ガラス飛散防止対策・食糧や非常用トイレを備蓄することで、避難所へ行かなくても良い住環境作りが大切だと語られました。



▲勝利に向けて一手一手を慎重に

老人クラブ囲碁大会

1月23日(水)、中央公民館で囲碁大会が開催されました。

大会には10人が参加、日頃の練習の成果を発揮し、トーナメントで熱戦が展開されました。

大会結果は以下のとおりです。(敬称略)

優勝 武藤 隆巳 6段
準優勝 中名 康晴 4段
3位 寺島 孝一 5段

優勝の武藤隆巳さんは、今大会で5連覇となりました。



▲「たこ」を使って土のうを固める児童たち

河川防災ステーションで体験

1月24日(木)、揖斐川大垣河川防災ステーションで国土交通省木曾川上流河川事務所主催による防災体験学習が行われ、名森小学校5年生が参加しました。

児童たちは、照明車の操作体験、対策本部車・排水ポンプ車・河川パトロール車の見学をした後に、土のう作り体験をしました。

スコップで砂を土のう袋に詰めてから、袋の向きに注意して並べ、「たこ」と呼ばれる道具で突き固めるなど本格的な体験に児童たちは満足な表情を見せて真剣に取り組んでいました。



▲順番に1億円の重さを体験する児童たち(名森小)

租税教室

1月11日(金)・21日(月)・25日(金)、町税務課職員が各小学校の6年生を対象に租税教室を実施しました。

「救急車を呼んだらお金はかかりますか」のクイズから始まり、税の種類や税のある世界とない世界を比較したビデオを見て、税のあり方について学びました。

児童は「税は無くねれば良いと思っていたけど、大切さが分かりました」と話していました。

また、1億円のレプリカを見ると普段目にする事のない大金に驚きの声が上がりました。